

## 若者の活躍支援

現在、急激に人手不足となり働き手の奪い合いの状態です。

でも少し前までは全く違う状況で、90年代のバブル崩壊以降、就職氷河期が長く続いていました。今の30代・40代の方々が就職した時期です。非正規社員、ニート、フリーター、晩婚化、ブラック企業といった言葉も、この時期に出てきました。この間のご苦労や努力は、想像以上に大きかったと思います。

そんな中、もがいて自らを磨き、個性的なものを作り出し、その小売りを始めたり、ネット販売したり、イベントでブース出展したり、けなげに頑張っている若者の姿を県内で時々見かけます。しかし、都会ならお店にお客さんが並ぶであろうところ、福井はお客さんのパイが小さいので、とても苦労されている様子が伺われます。

そこで、頑張っている彼らに対する県の支援メニューについて質しました。

### ☆ 支援メニュー ☆

#### ●若者の創業促進

無料で利用可能なコワーキングスペース（共同事務所）提供  
創業マネージャーによる課題解決支援  
若手社長体験談やネット販売手法を学ぶセミナー開催

#### ●女性向け

SNS 活用の販路開拓講座、交流会、  
ビジネスプランを作る創業塾開催

さらには、一般向けの支援として

- ・ふくいの逸品創造ファンド
  - ・新分野展開スタートアップ支援事業
  - ・おもてなし産業魅力向上支援事業
  - ・ふくいの老舗企業チャレンジ応援
  - ・創業支援事業
  - ・首都圏展示会などへの販路開拓支援
- 等があります。

ふくい産業支援センターや商工会などで有効な情報を得て、若い方にもうまく活用していただければと思います。



# 細川かをり県政報告

第44号

私こと

寒中お見舞い申し上げます。  
年明けとともに2月議会の質問草稿に取り掛かって  
おります。締めくくりには、やはり「教育について」  
じっくり述べたいと思っているところ…。  
未来の福井が希望あふれる県となるよう、頑張ります！



県 現在、こういった支援を行っております。若い創業者が実情に応じて支援メニューを選べるように、窓口となる市町や商工団体に説明したり、ホームページやSNSで広報を充実させたりしていきます。

### ☆高校生も頑張っています☆

（県内高校生が開発した商品）

科学技術高校 葉がいらないブックカバー  
若狭東高校 こうぎくあんパン  
敦賀高校 ビクトリーサブレ  
福井農林高校 うららのドレッシング

等々、地域素材を活かした商品です。地域の商店や企業と連携して販売されていますが、県も「商品アピールの機会を積極的に提供していく」とのこと。見かけたら応援いただけると幸いです！

おわりに

◆ 数年前、東京の文具屋「伊東屋」の取締役らと共に、イギリスの湖北地方に行きました。

そこはピーターラビットの作者がいた里です。伊東屋はハーディというブランド展開のために、私はそのモチーフである「ハードウィック種の羊」を福井で飼えないか調査することが目的でした。

びつくりしたのは、ロンドンから北上する列車の車窓風景が、行けども行けども牧場でひたすら草を食べる羊であったこと、それから、世界中から観光客を集める湖北地方は「古民家」の家並みが魅力で人々が来るのだということ、むしろ古い家ほど価格が高いのだということです。もちろん、中は最新のキッチンセットを備えるなど改築されていますが、たまたまいは何百年も前の状態を保っています。

残念ながら、口蹄疫などの家畜感染病のために羊の輸入はできず、伊東屋とのタイアップは断念しましたが、羊の除草力や住風景が脳裏に焼き付きました。

「美しい福井の風景」を考えるにあたり、このイギリス湖北地方の風景が、私のひとつの指針となっています。

◆ 「野放図に伸びた道路沿線や河川の雑草・雑木」がとても気になってます。草の力は凄いです。アスファルトやコンクリート突き破ります。

特に気になるのは、要注意外来生物であるセイタカアワダチソウの繁殖力です。この秋も、耕作放棄地のみならず川の堤防・道路際などにずらっと生えています。日本の在来種が何種かなくなっているのではないのでしょうか。

地域でも一生涯草刈りをしますが、県内、全く間に合っておりません。すでに人力の限界を超えていると私は見えています。

そんな中、解決法のひとつとして、羊ならぬ「山羊を飼う」という方法が浮かび、今回質問した次第です。山羊の除草効果も羊同様たいへん高く、セイタカアワダチソウもむしやむしや食べられます。癒し効果もあるうえ、鳥獣害対策にも一役かきそうです。

昔は、普通の民家で「山羊の一頭飼いがザラにあったと聞きます。「朝、近所の家の山羊の乳を飲んで登校した」とも。私にとって「昔の地域の暮らし」も、「美しく持続可能な地域」を考察する大きな指針のひとつです。

ちなみに池田町では、十年以上前から町民の方々がセイタカアワダチソウを抜く運動をされています。それを知って以来、池田の風景を観ると、美しさだけでなく、人の営みの凄さに感動します。

◆ 若狭高校で開発されたサバ缶が、JAXAの宇宙日本食に選ばれました。

高校で開発されたものとしては初めての快挙です。先にもご紹介したように、県内の職業系高校・職業系学科、頑張っています！

福井農林高校では「ふれあいマート」として生徒が育てた「野菜、卵、果実、米、花」などを販売しています。

今年度はあと一回、今月15日午後2時から3時の間。安くて新鮮と近所で評判です。…行きたいな。

★ ラジオ丹南FM「県議会 夢 通信」

1月12日（土）午後4時～  
（再）13日（日）午前10時～

細川かをり県政報告 H31年1月  
発行：福井県議会議員 細川かをり  
事務所：越前市村国1丁目2-11  
TEL・FAX 42-5888

福井は、壮大な海や山々や、伝統的民家が落ち着いた佇まいを醸し出す農山魚村の景色など、風光明媚な県土に恵まれています。それだけに、その魅力を減退させるものには心が痛みます。

### 耕作放棄地

**細川** 耕作放棄地の面積は、8年前と比べどう変化しているのか、またその評価は？

**知事** 8年前の耕作放棄地は1,738ヘクタール、現在は、1,974ヘクタールである。

耕作放棄地の割合は、5.3パーセントであり、全国で4番目に少ない。条件不利農地の農作業を応援する県独自の地域農業サポート事業や、中山間地域等直接支払交付金を使っている事業により、割合、この割合が少ないという結果だ。

県では、農地を確保する目的として、農振地域の優良農地を平成37年までに37,819ヘクタールとする方針を掲げている。

農地の活用へのパトロール、有効利用に関する相談活動などを行う各市町、特に農業委員会の委員さんが頑張ってくれているので、いろんな良い実例も出ている。

こうしたことを踏まえながら、耕作放棄地の増加の抑制および解消を進めてまいりたい。

## 福井県民の将来ビジョンより(2) —美しい「福井の風景」について—

### 空き家対策

**細川** 空き家情報バンク登録数が増えた結果、何件空き家が解消されたのか、マニユアルに沿い何件の空き家が除却されたのかとともに、今後の目標を伺いたい。

**知事** 県では、「ふくい空き家情報バンク」をつくり、これまでに1,829戸の登録があり、このうち1,166戸が売買等の成約に至っている。

また、県、市町、関係団体からなる「福井県空き家対策協議会」では、空き家所有者の特定手順をまとめた空き家対策マニユアルを26年度につくった。これに基づき、約600戸の空き家を把握、このうち特に老朽化が著しい空き家について、市町から所有者に適正管理を求めた結果、これまでに99戸の空き家が除却をされた。

県として、市町とともに、子育て世帯や移住者・親子世帯間で近居するためなどの空き家取得支援など、空き家の活用を促進し、活用と除却の両面から対策を進めていきたい。

太陽光発電は環境政策として世界的に推進されています。

アメリカのカリフォルニア州ランカスター市では、**新築住宅に太陽光発電設置を義務付けています**。フロリダ州セントピーターズバーグ市では、**新築だけでなく屋根の大規模改修でも設置義務付けしようとしています**。

また、環境政策の最先端では「ゼロエネルギー建築基準」制定が進んでいますが、その手立てとして太陽光発電は中心的役割を果たしています。

そこで「低炭素の街づくり推進」をビジョンで掲げる県に、悪質業者ではなく、**地元のきちんとした業者を選定したうえで**の、ソーラーシェアリング等の普及を質しました。

### 太陽光発電

### ヤギ除草

**細川** 雑草駆除のため、

山羊のレンタルを町内会や集落営農組織、個人にまで拡大できないか？

**農林水産部長** 畜産試験場では山羊と羊を計20頭、現在飼育しており、平成27年度から、山羊の飼育に必要な柵や雨よけ小屋を用意していただいた学校や集落、老人ホームなど9か所に貸し出しを行っている。

貸し出した小学校の児童からは「散歩が楽しみ」とか、「むしゃむしゃとたくさん食べるので餌やりが楽しい」などの感想を聞いている。

山羊は雑食で草以外に葉っぱや木の芽など、固いものも好んで食べるので、雑草駆除にも効果が期待できることから、今後、山羊を適切に飼育できる町内会、集落営農組織や個人に対しても、貸し出しを拡大するとともに、需要に応じて飼育頭数を増やしていきたい。



**細川** ソーラーシェアリングに関し、農地法に基づく転用の除外適用緩和、もしくは「太陽光発電のための農地転用ならば課税率を上げなくていい」といった特例を国に求めているかどうか。

**農林水産部長** 太陽光発電設備の農地への設置については、農業経営の改善、地域の活性化の観点から、荒廃地等活用する場合、一時転用期間が10年以内というようになってきている。これを更に転用期間の延長について、今後国に働きかけてまいりたい。

**細川** ソーラーシェアリングで作りやすい農作物の開発・紹介を農業試験場で行えないか、また、「和紙の原料栽培ならばソーラーシェアリングとして認める」とか「耕作面積割合を現実的なものに下げる」といった工夫はできないか？

**農林水産部長** 県内では、これまで一時転用により太陽光パネルを設置した圃場において、水稻のほか、ウドとかタラ、そういったものの生産事例がある。

農地で栽培する農作物についての制限はなく、**楮**、**ミツマタ**等も含めて、**作りやすい農作物にはどういったものがあるのか**、どのような農産物が作られているのかについて、他県や国の研究機関等から情報を収集し、農業試験場において耕作者からの相談に応じ紹介していきたい。

**細川** 低炭素社会を目指す本県でも、住宅用太陽光発電を積極的に推進すべきと考えるが所見を伺いたい。

**安全環境部長** 本年3月末の県内住宅への導入件数は約1万件、普及率は5%。これは、日照等気象条件が同様の北海道から本県までの日本海側8道県を比べてみますと最も高い比率となっている。

国は、太陽光発電と住宅の高断熱化を組み合わせたゼロエネルギーハウス、いわゆるZEH普及を目指していると承知している。

県内のZEH導入新築住宅も、日本海側8道県でみて高い比率となっているが、今後も、このZEHの有効性、温室効果ガス削減に効果があるということを広くPRし、住宅用太陽光発電のさらなる普及を図ってまいりたい。